



学校長あいさつ

春のやわらかな陽ざしが注ぎ、生命の躍動を感じる季節となりました。
今年度より丹後緑風高校の第3代校長として着任いたしました後藤文彦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
さて、令和5年4月11日に久美浜学舎において丹後緑風高校第4回入学式を行い、121名の新入生を迎えて本校4年目の教育活動がスタートしました。今年度も教職員一同一丸となって、教育活動に取り組んで参りますので、御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



京都府立丹後緑風高等学校
校長 後藤 文彦

本校久美浜学舎は、各学年2クラス、全校生徒94名と小規模な学校ですが、特色ある専門学科2学科を設置しています。明治35年に設立された熊野郡立農林学校から120年の伝統を受け継ぐ農業系専門学科のアグリサイエンス科と、平成10年に京都府の公立高校で最初に設置された総合学科の教育活動を継承発展させた普通科系専門学科のみらいクリエイト科です。いずれの学科においても、「豊かな人間性を育む」「未来を切り拓く想像力を育む」「社会人基礎力を育む」「地域で学び、地域とともに育つ」という久美浜学舎の4つの教育方針に基づき、地域と連携した学びと、探究的な活動を重視した学びを柱として教育活動を推進しています。また、ICT機器による網野学舎との遠隔授業、福祉棟や農場、海部Kitchenなどの充実した実習環境を活用した実践的な学び、少人数であることを活かした一人一人の生徒に寄り添った丁寧な指導も久美浜学舎の大きな特徴となっています。

生徒の活動を中心に、学校の教育活動についてタイムリーに紹介していきますので、本学舎広報誌「久美浜学舎だより」及び本校ホームページを御覧いただけますよう、よろしくお願いいたします。

入学式

4月11日(火)、あたたかな春の陽ざしに恵まれる中、久美浜学舎にて入学式が挙行されました。久美浜学舎では、アグリサイエンス科18名、みらいクリエイト科17名、計35名の新入生を迎えました。

新入生を代表して、網野学舎の根岸埜愛さん(網野中)、久美浜学舎の豊浦恵さん(久美浜中)の2人が、本校の規則をよく守り、生徒としての本分を尽くすことを宣誓しました。

入学式終了後は、それぞれのHR教室に移動し、初めてのHRが行われました。まだまだ緊張感あふれる雰囲気でしたが、1日でも早く学校に慣れ、楽しく充実した高校生活が送れるように教職員一同、サポートしていきたいと思います。



新入生オリエンテーション

4月13日(木)、生徒会執行部の主催で、新入生オリエンテーション・部活動紹介を行いました。生徒会組織や学校行事について紹介したり、学校のルールや担任の先生についてクイズをしたりしました。時折笑いも起こりながら、あたたかく1年生を迎えることができました。部活動紹介では、各部活動で動画を用いて練習の様子を見せたり、美術部は即興で絵を描くなど、工夫をこらして紹介を行いました。上級生のおもてなしによって、1年生が高校生活をスムーズに開始し、充実した1年になるきっかけとなりました。



部活動報告

新入生も加わり、多くの部活動が新体制での活動をスタートさせています。これから多くの活躍をしてくれることを期待しています。生徒の活躍は今後も学舎だよりをはじめ、HPやインスタグラム等でも配信しますので、御覧ください。

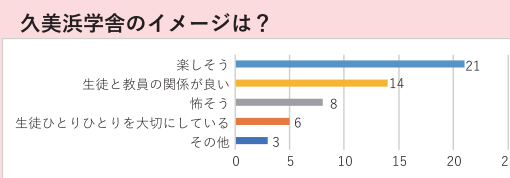
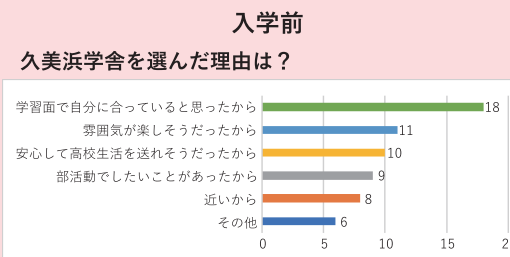
■美術部

村尾蓮華さん(3年・加悦中)の作品が、昨年度の京都総合文化祭の出品を経て、今夏、鹿児島県で開催予定の第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」に出品されることが決定しています。



僕らのリアル 久美浜学舎生徒のホンネ

今回は、新入生を対象にアンケートをとってみました。入学前と入学後ではどんな変化があったのでしょうか。



入学後 入学して感じた久美浜学舎の良さは？

- ・少人数だから過ごしやすい
- ・先生も先輩も接しやすく、授業も楽しい
- ・勉強と部活動の両立ができること

久美浜学舎でどんな学校生活にしたい？

- ・楽しく充実した高校生活にしたい！
- ・いろいろなことに挑戦したい！
- ・夢に少しでも近づけるようになりたい！
- ・後悔のないような高校生活にしたい！

「少人数」や「怖そう」といったマイナスのイメージは、ほとんどの生徒が実際には全然違ったと感じています！

アグリサイエンス科通信

緑風マーケット（野菜苗・花苗販売会）

4月20日（木）・21日（金）に毎年恒例の野菜苗・花苗販売会を行いました。当日は、生産コースの生徒たちが、2月の土づくり・種まきからはじめ、丹精込めて栽培管理をしてきたトマト、ナス、ピーマン、キュウリ、スイカ、カボチャなど20種類の夏野菜の苗と、マリーゴールドやサルビア、ペチュニアなど6種類の花苗の合計約9,000本の苗を販売しました。また、食品コースの生徒が食品製造の授業で作ったマドレーヌ、ドーナツ、パンの販売を生徒たちの実習をかねて行いました。

初日10時半の販売開始前には、約70名の地域の方々が大蛇の列を作られ、販売開始直後には、次から次に野菜苗をお求めになるお客様とそれに対応する生徒たちが動き回る大混雑が見られました。二日間とも天候にも恵まれ、過去最高となる320名ほどの方々に来校していただき、大盛況のうちに終了しました。

来校されたお客さんからは、「今年の苗は、例年以上に大変いい苗だね。」「車までいねいに苗を運んでくれてありがとう。」「おいしそうなお菓子だね。帰っておいしくいただくわ。」「と言ったお褒めの言葉をたくさんいただき、対応にあたった生徒からは、「今まで頑張って準備してよかった。」「たくさん売れて嬉しかった。」「といった達成感の表情や満足の声が聞かれました。



農業クラブ入会式・年度初総会

昨年度末にアグリサイエンス科の1期生19名が卒業し、今年度新たに18名のアグリサイエンス科の新入生を迎えました。その新入生の農業クラブへの入会をアグリサイエンス科全学年で行いました。入会式では、農業クラブ会長の平林さらさん（3年・網野中）による新入生の呼名が行われ、新入生を代表して、豊浦恵さん（1年・久美浜中）による力強い宣誓がありました。そのあと、今年度最初となる総会が実施され、農業クラブ役員紹介、今年度の活動計画、予算の確認が農業クラブ役員の進行で行われました。新たなクラブ員を迎え、4年目となる丹後緑風高校アグリサイエンス科の本格始動です。



みらいクリエイイト科通信

みらい探究 活動開始！

■予測困難な時代を生き抜くために

先行きの不透明な「VUCA【Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）】」時代を自分らしく生き抜くためには、課題を発見し、それらを解決していく能力が必要不可欠と考えられています。みらいクリエイイト科では、さまざまな教科の探究的な授業を通して、これらのスキルを身に付けていきます。特に、総合的な探究の時間「みらい探究」では、自分自身を見つめ直し、自分の興味や関心を再発見することで自己理解を深めるとともに、自分自身の課題を発見していきます。また、地域や周りの人々の困りごとにも目を向け、地域や社会とつながりながら、課題解決能力を身に付け、社会をより良くしていく人材を育成していきます。



■みらい探究の3年間の流れ

1年生
探究の手法の学習

自己理解を深め、情報活用能力を身に付けます。失敗をおそれずに進めていくことを大切にしていきます。



2年生
自分自身や地域の課題発見

地域の課題にも目を向け、自分がどのように社会と関わることが地域貢献につながるかを考え、行動していきます。



3年生
自分自身や地域の課題解決

地域の課題解決が、どのような変化をもたらすかを理解し、他者と協働して課題解決に向け、行動していきます。



普通科としての学び

みらいクリエイイト科は、四年制大学への進学にも対応した普通科系専門学科です。探究的な授業ばかりでなく、国語・数学・英語をはじめとした受験に必要な教科についても丁寧な指導を心がけています。一人ひとりの理解状況や能力、適性に合わせ、対話を重ねながら学習をすすめていきます。少人数の久美浜学舎ならではの「個別最適な学び」を実現していきます。

